

特 別 利 益 ㊸	40,626,599	0.4	6,352,423	0.1	639.5
特 別 損 失 ㊹	71,080,220	0.7	9,206,035	0.1	772.1
附 帯 事 業 収 益 ㊺	103,398,658	1.0	112,102,451	1.1	92.2
(㊺のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(69,543,000)	(0.7)	(75,381,000)	(0.7)	(92.3)
附 帯 事 業 費 用 ㊻	102,648,289	1.0	112,474,203	1.1	91.3
当 年 度 純 損 失 ㊼ (㊸+㊹+㊺)-(㊻+㊽)	450,383,075	4.3	590,267,408	5.7	76.3
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ㊾	737,284,061	—	147,016,653	—	501.5
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ㊼+㊾	1,187,667,136	—	737,284,061	—	161.1

当年度の純損失は、450,383,075円となっており、前年度の590,267,408円と比較して、139,884,333円減少している。

この結果、未処理欠損金は、1,187,667,136円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、前年度と比較すると未収金額は減少しているものの、2,065件、49,726,742円(過大計上額及び正当徴収不能引当金計上額を除く。)である。

収入の促進に引き続き努められたい。

4 経理事務について

(1) 扶養手当等が、3件、206,250円過少支給となっていた。

(2) 医業未収金が、1件、898,353円過大計上、その他未収金が、1件、589,741円過少計上となっていた。

(3) 徴収不能引当金が、3件、142,820円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち未収金及び徴収不能引当金の計上誤りは、前年度に引き続き事務処理誤りである。

5 盗難について

平成18年12月16日及び19年1月10日に、駐車場の自動料金精算機が壊され、現金86,000円を盗まれていた。

盗難の防止に努められたい。

県立塚口病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許 可 病 床	稼 働 病 床	許 可 病 床	稼 働 病 床
平成 年度 18	人 190,408	人 777	人 91,740	人 251	床 400	床 311	% 62.8	% 80.8
17	205,822	844	111,936	307	400	365	76.7	84.0
差引増減(△)	△15,414	△67	△20,196	△ 56	0	△ 54	△13.9	△ 3.2

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ②/①
	金 額 ②	医業収益に 対する割合	金 額 ③	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円 4,699,852,392	% 100.0	円 5,303,790,194	% 100.0	% 88.6
医 業 費 用 ②	6,002,077,901	127.7	5,982,478,036	112.8	100.3
(②のうち給与費)	(3,765,046,775)	(80.1)	(3,622,802,425)	(68.3)	(103.9)
(②のうち材料費)	(1,127,964,224)	(24.0)	(1,249,019,051)	(23.5)	(90.3)
医 業 損 失 ③ (②-①)	1,302,225,509	27.7	678,687,842	12.8	191.9
医 業 外 収 益 ④	453,572,214	9.7	368,914,512	7.0	122.9
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(381,634,000)	(8.1)	(311,511,000)	(5.9)	(122.5)
医 業 外 費 用 ⑤	130,999,799	2.8	144,422,520	2.7	90.7
経 常 損 失 ⑥ (③+⑤)-④	979,653,094	20.8	454,195,850	8.6	215.7
特 別 利 益 ⑦	70,982,734	1.5	207,643	0.0	34, 185.0
特 別 損 失 ⑧	67,323,413	1.4	2,621,315	0.0	2,568.3
当 年 度 純 損 失 ⑨ (⑧+⑥)-⑦	975,993,773	20.8	456,609,522	8.6	213.7
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	940,725,244	-	484,115,722	-	194.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑩+⑨	1,916,719,017	-	940,725,244	-	203.7

当年度の純損失は、975,993,773円となっており、前年度の456,609,522円と比較して、519,384,251円増加している。

この結果、未処理欠損金は、1,916,719,017円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、2件、40,900円過少請求となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

4 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、365件、31,856,082円(正当徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

5 経理事務について

(1) その他医業外収益(医師公舎共益費等)が、4件、442,310円過少計上となっていた。

(2) 住居手当等が、2件、304,633円過大支給、4件、50,795円過少支給となっていた。

(3) 固定資産除却費が、4件、27,232,094円過少計上となっていた。

(4) 徴収不能引当金が、15件、344,742円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち給与関係の支給誤り及び徴収不能引当金の計上誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

県立西宮病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	259,264	1,058	133,280	365	400	400	91.3	91.3
17	263,717	1,081	134,418	368	400	400	92.1	92.1
差引増減(△)	△ 4,453	△ 23	△ 1,138	△ 3	0	0	△ 0.8	△ 0.8

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円 7,447,136,034	% 100.0	円 8,223,438,960	% 100.0	% 90.6
医 業 費 用 ②	8,207,186,946	110.2	8,861,938,049	107.8	92.6
(②のうち給与費)	(4,514,293,707)	(60.6)	(4,483,596,342)	(54.5)	(100.7)
(②のうち材料費)	(2,107,138,222)	(28.3)	(2,819,290,179)	(34.3)	(74.7)
医 業 損 失 ③ (②-①)	760,050,912	10.2	638,499,089	7.8	119.0
医 業 外 収 益 ④	962,799,826	12.9	892,223,599	10.8	107.9
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(881,467,000)	(11.8)	(812,561,000)	(9.9)	(108.5)
医 業 外 費 用 ⑤	564,377,400	7.6	606,758,155	7.4	93.0
経 常 損 失 ⑥ (③+⑤)-④	361,628,486	4.9	353,033,645	4.3	102.4
特 別 利 益 ⑦	387,072	0.0	8,874,457	0.1	4.4
特 別 損 失 ⑧	5,664,312	0.1	8,453,012	0.1	67.0
当 年 度 純 損 失 ⑨ (⑥+⑧)-⑦	366,905,726	4.9	352,612,200	4.3	104.1
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	12,085,747,288	-	11,733,135,088	-	103.0
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑩+⑨	12,452,653,014	-	12,085,747,288	-	103.0

当年度の純損失は、366,905,726円となっており、前年度の352,612,200円と比較して、14,293,526円増加している。

この結果、未処理欠損金は、12,452,653,014円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、357件、28,245,571円(過大計上額及び徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 契約事務について

システム運用管理業務委託等に係る契約で、契約保証金の徴収等をしていない契約が、12件(契約総額138,051,900円)、廃棄物運搬業務委託に係る契約で契約保証金の不足している契約が、1件(不足額107,100円)あった。

前年度に引き続き契約事務の誤りが生じており、契約事務をなお一層適正に執行されたい。

県立加古川病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者					
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	病 床 数		病 床 利 用 率	
					許 可 病 床	稼働 病 床	許 可 病 床	稼働 病 床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	155,769	636	94,932	260	400	311	65.0	83.6
17	160,731	659	99,283	272	400	345	68.0	78.8
差引増減(△)	△ 4,962	△ 23	△ 4,351	△ 12	0	△ 34	△ 3.0	4.8

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ③	円 4,508,524,495	% 100.0	円 4,571,131,584	% 100.0	% 98.6
医 業 費 用 ④	5,330,863,572	118.2	5,465,715,573	119.6	97.5
(④のうち給与費)	(3,413,602,433)	(75.7)	(3,509,126,192)	(76.8)	(97.3)
(④のうち材料費)	(1,129,750,423)	(25.1)	(1,122,664,707)	(24.6)	(100.6)
医 業 損 失 ⑤ (④-③)	822,339,077	18.2	894,583,989	19.6	91.9
医 業 外 収 益 ⑥	348,377,169	7.7	306,462,765	6.7	113.7
(⑥のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(330,337,000)	(7.3)	(289,851,000)	(6.3)	(114.0)
医 業 外 費 用 ⑦	136,808,579	3.0	137,383,714	3.0	99.6
経 常 損 失 ⑧ ((⑤+⑦)-⑥)	610,770,487	13.5	725,504,938	15.9	84.2
特 別 利 益 ⑨	15,121,053	0.3	3,815,340	0.1	396.3
特 別 損 失 ⑩	3,826,701	0.1	1,004,878	0.0	380.8
当 年 度 純 損 失 ⑪ ((⑧+⑩)-⑨)	599,476,135	13.3	722,694,476	15.8	83.0
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑫	9,624,649,364	-	8,901,954,888	-	108.1
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑬+⑫	10,224,125,499	-	9,624,649,364	-	106.2

当年度の純損失は、599,476,135円となっており、前年度の722,694,476円と比較して、123,218,341円減少している。

この結果、未処理欠損金は、10,224,125,499円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、236件、18,644,691円(徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

(1) 期末手当等が、3件、135,547円過大支給となっていた。

(2) 器械備品減価償却累計額が、1件、91,800円過少計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立淡路病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	(0)人	人	(4)床	(4)床	(0)%	(0)%
18	203,964	833	140,123	384	452	452	84.9	84.9
17	226,735	929	146,566	402	452	452	88.8	88.8
差引増減(△)	△22,771	△96	△6,443	△18	(0)	(0)	(0)	(0)
					0	0	△3.9	△3.9

(注)感染症病床に係るものを()内書きました。

なお、附帯事業として淡路看護専門学校において、看護師養成事業を次表のとおり行っている。

区 分	学 生 数	
	定 員	現 員
淡路看護専門学校	120人	111人

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
	円	%	円	%	%
医 業 収 益 ①	7,534,759,925	100.0	8,157,779,132	100.0	92.4
医 業 費 用 ②	9,171,229,177	121.7	9,475,586,952	116.2	96.8
(②のうち給与費)	(5,854,307,480)	(77.7)	(5,860,504,969)	(71.8)	(99.9)
(②のうち材料費)	(2,063,250,582)	(27.4)	(2,313,469,059)	(28.4)	(89.2)
医 業 損 失 ③ (②-①)	1,636,469,252	21.7	1,317,807,820	16.2	124.2
医 業 外 収 益 ④	1,165,403,814	15.5	1,115,078,854	13.7	104.5
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(1,052,488,000)	(14.0)	(1,010,409,000)	(12.4)	(104.2)
医 業 外 費 用 ⑤	274,145,739	3.6	305,726,495	3.7	89.7
経 常 損 失 ⑥ (③+⑤)-④	745,211,177	9.9	508,455,461	6.2	146.6

特 別 利 益 ㊸	52,834,867	0.7	40,390,526	0.5	130.8
特 別 損 失 ㊹	52,376,895	0.7	44,560,067	0.5	117.5
附 帯 事 業 収 益 ㊺	125,897,299	1.7	133,245,936	1.6	94.5
(㊺のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(113,256,000)	(1.5)	(120,528,000)	(1.5)	(94.0)
附 帯 事 業 費 用 ㊻	124,796,557	1.7	132,684,335	1.6	94.1
当 年 度 純 損 失 ㊼ ((㊸+㊹+㊺)-(㊻+㊽))	743,652,463	9.9	512,063,401	6.3	145.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ㊾	5,001,673,026	—	4,489,609,625	—	111.4
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ㊼+㊾	5,745,325,489	—	5,001,673,026	—	114.9

当年度の純損失は、743,652,463円となっており、前年度の512,063,401円と比較して、231,589,062円増加している。

この結果、未処理欠損金は5,745,325,489円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、303件、37,945,443円(過大計上額及び徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

医業未収金が58件、28,110,526円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立光風病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者					
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	病 床 数		病 床 利 用 率	
					許 可 病 床	稼働 病 床	許 可 病 床	稼働 病 床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	39,906	163	119,523	327	495	495	66.2	66.2
17	40,850	167	132,898	364	495	495	73.6	73.6
差引増減(△)	△944	△4	△13,375	△37	0	0	△7.4	△7.4

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対し割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円	%	円	%	%
	2,043,788,181	100.0	2,223,765,042	100.0	91.9
医 業 費 用 ②	3,850,529,471	188.4	3,796,045,195	170.7	101.4
(②のうち給与費)	(2,929,399,467)	(143.3)	(2,869,184,269)	(129.0)	(102.1)
(②のうち材料費)	(383,698,267)	(18.8)	(395,151,386)	(17.8)	(97.1)
医 業 損 失 ③ (②-①)	1,806,741,290	88.4	1,572,280,153	70.7	114.9
医 業 外 収 益 ④	1,434,320,302	70.2	1,350,034,235	60.7	106.2
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(1,416,515,000)	(69.3)	(1,330,758,000)	(59.8)	(106.4)
医 業 外 費 用 ⑤	274,593,681	13.4	286,079,910	12.9	96.0
経 常 損 失 ⑥ (③+⑤)-④	647,014,669	31.7	508,325,828	22.9	127.3
特 別 利 益 ⑦	271,430	0.0	830,822	0.0	32.7
特 別 損 失 ⑧	15,200	0.0	163,188	0.0	9.3
当 年 度 純 損 失 ⑨ (⑥+⑧)-⑦	646,758,439	31.6	507,658,194	22.8	127.4
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	9,087,205,038	-	8,579,546,844	-	105.9
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ①+⑩	9,733,963,477	-	9,087,205,038	-	107.1

当年度の純損失は、646,758,439円となっており、前年度の507,658,194円と比較して、139,100,245円増加している。

この結果、未処理欠損金は9,733,963,477円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、84件、12,725,439円(正当徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

(1) 徴収不能引当損が、1件、178,880円過少計上となっていた。

(2) 貯蔵品が、1件、33,925円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立柏原病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可 病床	稼働 病床	許可 病床	稼働 病床
平成 年度 18	人 101,668	人 415	人 62,338	人 171	床 303	床 260	% 56.4	% 65.7
17	137,982	566	83,419	229	353	353	64.7	64.7
差引増減(△)	△36,314	△151	△21,081	△58	△ 50	△ 93	△ 8.3	1.0

なお、附帯事業として柏原看護専門学校において看護師養成事業を行うとともに、東洋医学研究所附属柏原鍼灸院において鍼及び灸の施術を次表のとおり行っている。

区 分	学 生 数	
	定 員	現 員
柏原看護専門学校	120 人	101 人

区 分	診療延べ人員
東洋医学研究所附属柏原鍼灸院	279 人

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
	円	%	円	%	%
医 業 収 益 ①	3,416,849,715	100.0	4,232,448,060	100.0	80.7
医 業 費 用 ②	4,949,307,873	144.9	5,432,337,848	128.3	91.1
(②のうち給与費)	(3,352,879,435)	(98.1)	(3,612,222,600)	(85.3)	(92.8)
(②のうち材料費)	(764,303,254)	(22.4)	(984,824,129)	(23.3)	(77.6)
医 業 損 失 ③ (②-①)	1,532,458,158	44.9	1,199,889,788	28.3	127.7
医 業 外 収 益 ④	533,316,013	15.6	727,274,006	17.2	73.3
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(492,949,000)	(14.4)	(681,888,000)	(16.1)	(72.3)

医 業 外 費 用 ㊦	184,972,951	5.4	212,008,176	5.0	87.2
経 常 損 失 ㊧ ((㊦+㊨)-㊩)	1,184,115,096	34.7	684,623,958	16.2	173.0
特 別 利 益 ㊪	20,055,827	0.6	592,776	0.0	3,383.4
特 別 損 失 ㊫	22,819,315	0.7	5,217,423	0.1	437.4
附 帯 事 業 収 益 ㊬	168,410,162	4.9	159,031,173	3.8	105.9
(㊬のうち一般会計 からの負担金)	(146,421,000)	(4.3)	(133,311,000)	(3.1)	(109.8)
附 帯 事 業 費 用 ㊭	165,192,238	4.8	158,083,948	3.7	104.5
当 年 度 純 損 失 ㊮ ((㊭+㊫+㊬)-(㊪+㊩))	1,183,660,660	34.6	688,301,380	16.3	172.0
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ㊯	4,408,329,340	—	3,720,027,960	—	118.5
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ㊮+㊯	5,591,990,000	—	4,408,329,340	—	126.9

当年度の純損失は、1,183,660,660円となっており、前年度の688,301,380円と比較して、495,359,280円増加している。

この結果、未処理欠損金は5,591,990,000円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、258件、13,840,539円(徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

委託料(臨床実習研修委託)が、1件、15,435円支出漏れとなっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立こども病院

1 利用状況について

平成18年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者					
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	病 床 数		病 床 利 用 率	
					許 可 病 床	稼働 病 床	許 可 病 床	稼働 病 床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	84,567	345	83,985	230	290	260	79.3	88.5
17	84,350	346	88,923	244	290	260	84.0	93.7
差引増減(△)	217	△ 1	△ 4,938	△ 14	0	0	△ 4.7	△ 5.2

2 経営成績について

平成18年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ③	円	%	円	%	%
医 業 費 用 ④	8,300,387,531	128.6	8,125,847,226	125.5	102.1
(④のうち給与費)	(5,162,826,832)	(80.0)	(5,036,804,885)	(77.8)	(102.5)
(④のうち材料費)	(1,627,753,731)	(25.2)	(1,677,281,568)	(25.9)	(97.0)
医 業 損 失 ⑤ (④-③)	1,844,077,336	28.6	1,652,490,895	25.5	111.6
医 業 外 収 益 ⑥	1,689,005,413	26.2	1,657,169,752	25.6	101.9
(⑥のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(1,609,284,000)	(24.9)	(1,578,250,000)	(24.4)	(102.0)
医 業 外 費 用 ⑦	341,677,124	5.3	350,959,009	5.4	97.4
経 常 損 失 ⑧ (⑦+⑤)-⑥	496,749,047	7.7	346,280,152	5.3	143.5
特 別 利 益 ⑨	3,040,312	0.0	1,111,999	0.0	273.4
特 別 損 失 ⑩	16,135,319	0.2	843,877	0.0	1,912.0
当 年 度 純 損 失 ⑪ (⑧+⑩)-⑨	509,844,054	7.9	346,012,030	5.3	147.3
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑫	12,808,720,762	-	12,462,708,732	-	102.8
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑫+⑪	13,318,564,816	-	12,808,720,762	-	104.0

当年度の純損失は、509,844,054円となっており、前年度の346,012,030円と比較して、163,832,024円増加している。

この結果、未処理欠損金は、13,318,564,816円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、2件、15,000円過少請求となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

4 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、251件、14,487,825円(正当徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

5 経理事務について

(1) 期末手当等が、4件、190,659円過大支給、5件、243,745円過少支給となっていた。

(2) 前払費用として計上すべきものを、賃借料として処理しているものが、9件、300,000円あった。

(3) 徴収不能引当金が、15件、2,521,182円過少計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち給与関係の支給誤り及び徴収不能引当金の計上誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

6 契約事務について

器械備品購入に係る契約で契約保証金の不足している契約が、1件(不足額40,585円)あった。

適正に契約事務を執行されたい。

県立がんセンター

1 利用状況について

平成18年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可 病床	稼働 病床	許可 病床	稼働 病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	148,186	605	130,304	357	400	400	89.2	89.2
17	163,639	671	133,369	365	400	400	91.3	91.3
差引増減(△)	△15,453	△ 66	△ 3,065	△ 8	0	0	△ 2.1	△ 2.1

2 経営成績について

平成18年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成 18 年 度		平成 17 年 度		前年度に 対する割合 ②/①
	金 額 ②	医業収益に 対する割合	金 額 ③	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円	%	円	%	%
医 業 費 用 ②	10,646,916,438	114.8	10,567,554,408	109.5	100.8
(②のうち給与費)	(5,407,166,875)	(58.3)	(5,219,996,486)	(54.1)	(103.6)
(②のうち材料費)	(3,646,983,698)	(39.3)	(3,808,937,660)	(39.5)	(95.7)
医 業 損 失 ③ (②-①)	1,374,116,024	14.8	916,007,198	9.5	150.0
医 業 外 収 益 ④	1,298,012,361	14.0	1,288,401,678	13.3	100.7
(④のうち一般会計からの 負担金及び交付金)	(1,220,991,000)	(13.2)	(1,226,064,000)	(12.7)	(99.6)
医 業 外 費 用 ⑤	512,477,946	5.5	540,593,027	5.6	94.8
経 常 損 失 ⑥ ((③+⑤)-④)	588,581,609	6.3	168,198,547	1.7	349.9
特 別 利 益 ⑦	4,723,587	0.1	4,846,988	0.1	97.5
特 別 損 失 ⑧	4,780,074	0.1	2,074,694	0.0	230.4
当 年 度 純 損 失 ⑨ ((⑧+⑥)-⑦)	588,638,096	6.3	165,426,253	1.7	355.8
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	8,788,242,256	-	8,622,816,003	-	101.9
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑩+⑨	9,376,880,352	-	8,788,242,256	-	106.7

当年度の純損失は、588,638,096円となっており、前年度の165,426,253円と比較して、423,211,843円増加している。

この結果、未処理欠損金は9,376,880,352円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、60件、9,498,711円(徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

(1) 時間外勤務手当等が、4件、14,116円過大支給となっていた。

(2) 医業外未収金が、1件、14,540円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

5 現金の亡失について

平成18年9月5日に、窓口収納金100,000円を亡失していた。

現金の管理に当たり注意されたい。

県立姫路循環器病センター

1 利用状況について

平成18年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許 可	稼 働	許 可	稼 働
					病 床	病 床	病 床	病 床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	88,023	359	92,153	252	350	330	72.1	76.5
17	86,705	355	97,032	266	350	350	76.0	76.0
差引増減(△)	1,318	4	△4,879	△ 14	0	△ 20	△ 3.9	0.5

2 経営成績について

平成18年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ③/④
	金 額 ③	医業収益に 対する割合	金 額 ④	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円	%	円	%	%
医 業 費 用 ②	9,174,057,392	100.0	9,135,185,214	100.0	100.4
(②のうち給与費)	(4,395,083,414)	(47.9)	(4,303,946,524)	(47.1)	(102.1)
(②のうち材料費)	(4,012,570,248)	(43.7)	(4,121,162,567)	(45.1)	(97.4)
医 業 損 失 ③ (②-①)	645,103,320	7.0	713,616,965	7.8	90.4
医 業 外 収 益 ④	1,111,845,963	12.1	1,175,707,253	12.9	94.6
(④のうち一般会計からの 負担金・交付金)	(1,089,693,000)	(11.9)	(1,115,095,000)	(12.2)	(97.7)
医 業 外 費 用 ⑤	377,101,935	4.1	429,189,855	4.7	87.9
経 常 利 益 ⑥ (④-(③+⑤))	89,640,708	1.0	32,900,433	0.4	272.5
特 別 利 益 ⑦	1,033,681	0.0	7,331,630	0.1	14.1
特 別 損 失 ⑧	2,466,563	0.0	8,882,347	0.1	27.8
当 年 度 純 利 益 ⑨ (⑥+⑦-⑧)	88,207,826	1.0	31,349,716	0.3	281.4
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	252,890,115	-	284,239,831	-	89.0
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑩-⑨	164,682,289	-	252,890,115	-	65.1

当年度の純利益は、88,207,826円となっており、この結果、未処理欠損金は、164,682,289円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

3 未収金について

平成18年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、175件、15,490,967円(過大計上額及び正当徴収不能引当金計上額を除く。)であり、前年度と比較すると未収金額が増加している。

収入の促進になお一層努められたい。

4 経理事務について

- (1) 入院収益が、1件、24,782円過大計上、外来収益が、2件、45,983円過大計上、1件、16,306円過少計上となっていた。
- (2) 徴収不能引当損が、27件、2,659,640円過大計上となっていた。
- (3) 医業未収金が、2件、182,314円、その他未収金が、1件、13,425円、それぞれ過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立粒子線医療センター

1 利用状況について

平成18年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
18	5,026	21	16,509	45	50	50	90.5	90.5
17	2,144	9	13,526	37	50	50	74.1	74.1
差引増減(△)	2,882	12	2,983	8	0	0	16.4	16.4

2 経営成績について

平成18年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成18年度		平成17年度		前年度に 対する割合 ①/②
	金 額 ①	医業収益に 対する割合	金 額 ②	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ①	円 1,797,289,878	% 100.0	円 1,287,342,013	% 100.0	% 139.6
医 業 費 用 ②	2,167,991,483	120.6	2,117,449,679	164.5	102.4
(②のうち給与費)	(424,882,049)	(23.6)	(423,230,381)	(32.9)	(100.4)
(②のうち材料費)	(32,190,366)	(1.8)	(24,097,438)	(1.9)	(133.6)
医 業 損 失 ③ (②-①)	370,701,605	20.6	830,107,666	64.5	44.7
医 業 外 収 益 ④	616,129,892	34.3	709,703,068	55.1	86.8
(④のうち一般会計の 負担金・交付金)	(614,637,000)	(34.2)	(707,195,000)	(54.9)	(86.9)
医 業 外 費 用 ⑤	554,116,267	30.8	569,810,476	44.3	97.2
経 常 損 失 ⑥ ((③+⑤)-④)	308,687,980	17.2	690,215,074	53.6	44.7
特 別 利 益 ⑦	0	0	29,841	0.0	0
特 別 損 失 ⑧	159,390	0.0	61,818	0.0	257.8
当 年 度 純 損 失 ⑨ ((⑥+⑧)-⑦)	308,847,370	17.2	690,247,051	53.6	44.7
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ⑩	2,374,213,588	-	1,683,966,537	-	141.0
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ⑪+⑩	2,683,060,958	-	2,374,213,588	-	113.0

当年度の純損失は、308,847,370円となっており、前年度の690,247,051円と比較して、381,399,681円減少している。

この結果、未処理欠損金は2,683,060,958円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

教育委員会関係

阪神南教育事務所

収入の促進について

平成18年度(19年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は652件、総額は50,708,460円で、うち滞納繰越分は、565件、43,854,100円である。

収入の促進になお一層努められたい。

阪神北教育事務所

1 収入の促進について

平成18年度(19年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は491件、総額は37,877,300円で、うち滞納繰越分は、401件、30,049,980円である。

収入の促進になお一層努められたい。

2 経理事務について

期末手当が、1件、141,761円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

丹波教育事務所

収入の促進について

平成18年度(19年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は634件、総額は48,071,500円で、うち滞納繰越分は、514件、37,765,700円である。

収入の促進になお一層努められたい。

神戸教育事務所

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県立人と自然の博物館

経理事務について

給料等が、2件、14,316円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立美術館

事務処理は、おおむね適正と認められた。

神戸高等学校**経理事務について**

通勤手当が、3件、18,760円過少支給となっていた。

前年度に引き続き給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

神戸北高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、8件、80,400円で、うち滞納繰越分は、2件、18,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

神戸甲北高等学校**経理事務について**

期末手当が、1件、11,440円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

神戸高塚高等学校**経理事務について**

期末手当が、2件、357,538円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

兵庫工業高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、28件、268,800円である。

納期内納付の促進に努められたい。

神戸工業高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、85.2%で低率である。

納期内納付の促進に努められたい。

神戸商業高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、22件、220,500円で、うち滞納繰越分は、14件、158,100円である。

納期内納付の促進に努められたい。

尼崎高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、30件、268,800円である。

納期内納付の促進に努められたい。

尼崎北高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、9件、81,600円で、うち滞納繰越分は、5件、48,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

尼崎西高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、36件、360,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

尼崎工業高等学校**経理事務について**

住居手当が、1件、24,500円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

神崎工業高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、88.1%で低率である。

納付内納付の促進に努められたい。

武庫荘総合高等学校**経理事務について**

期末手当等が、1件、17,000円過大支給、1件、137,664円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

西宮今津高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、13件、124,800円である。

納期内納付の促進に努められたい。

西宮香風高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、84.2%で低率であり、また、定時制高校授業料の収入未済額は、657件、1,858,500円で、うち滞納繰越分は、251件、693,100円である。

納期内納付の促進に努められたい。

伊丹西高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、30件、292,800円である。

納期内納付の促進に努められたい。

宝塚高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、6件、57,600円である。

納期内納付の促進に努められたい。

川西明峰高等学校**授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、18件、172,800円である。

納期内納付の促進に努められたい。

川西高等学校**1 授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、77.6%で低率である。

納期内納付の促進に努められたい。

2 経理事務について

扶養手当等が、3件、181,500円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

三田祥雲館高等学校**経理事務について**

期末手当等が、2件、33,521円過大支給、1件、156,223円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

篠山鳳鳴高等学校**経理事務について**

期末手当等が、2件、353,399円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

篠山産業高等学校**1 授業料の徴収状況について**

平成18年度(19年3月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、8件、76,200円で、うち滞納繰越分は、2件、18,600円である。

納期内納付の促進に努められたい。

2 物品の損傷について

平成18年9月8日に自損事故により、公用車1台を損傷していた。

事故防止に配慮するとともに、物品の管理に留意されたい。

東灘高等学校**御影高等学校****夢野台高等学校****兵庫高等学校****鈴蘭台高等学校****神戸鈴蘭台高等学校****鈴蘭台西高等学校****湊川高等学校****長田高等学校****須磨東高等学校****須磨友が丘高等学校****北須磨高等学校****星陵高等学校****舞子高等学校****伊川谷北高等学校****伊川谷高等学校****長田商業高等学校****青雲高等学校****尼崎小田高等学校****尼崎稲園高等学校****西宮高等学校****鳴尾高等学校****西宮北高等学校**

西宮甲山高等学校
西宮南高等学校
芦屋高等学校
国際高等学校
伊丹高等学校
伊丹北高等学校
宝塚東高等学校
宝塚北高等学校
宝塚西高等学校
川西緑台高等学校
川西北陵高等学校
猪名川高等学校
有馬高等学校
北摂三田高等学校
三田西陵高等学校
柏原高等学校
氷上西高等学校
氷上高等学校
芦屋国際中等教育学校
視覚特別支援学校
神戸聴覚特別支援学校
こばと聴覚特別支援学校
神戸特別支援学校
阪神特別支援学校
こやの里特別支援学校
上野ヶ原特別支援学校
高等特別支援学校
氷上特別支援学校

事務処理は、おおむね適正と認められた。

公安委員会関係

兵庫警察署

経理事務について

通勤手当が、1件、70,490円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

東灘警察署

灘警察署

葦合警察署

生田警察署

長田警察署

須磨警察署

垂水警察署

神戸水上警察署

神戸西警察署

神戸北警察署

有馬警察署

芦屋警察署

西宮警察署

甲子園警察署

尼崎南警察署

尼崎東警察署

尼崎北警察署

伊丹警察署

川西警察署

宝塚警察署

三田警察署

篠山警察署

丹波警察署

事務処理は、おおむね適正と認められた。

第 4 財政的援助団体等の監査結果

財政的援助団体等の財務諸表の用語、区分等表示については、各団体の使用しているものに準拠して記載した。

財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構

1 監査の対象

阪神・淡路大震災の教訓から得た21世紀の成熟社会の基本課題である安全・安心なまちづくり、共生社会の実現を図るため、命の尊厳と生きる歓びを高めるヒューマンケアの理念に基づき、総合的なシンクタンクとして調査研究を進めるとともに、諸課題について政策提言等を行い、もって21世紀文明の創造に寄与することを目的とするこの法人に対し、平成18年度において次のとおり財政的援助等を行っている中で、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構運営費補助事業等	135,593,000円
公の施設の管理	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター等指定管理料	943,982,000円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当法人が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成18年度補助対象事業及び公の施設の管理事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	903,896,802円	事 業 収 入	131,668,654円
管 理 費	349,568,636	補 助 金 等 収 入	1,079,575,000
特定資産取得支出	1,922,075	雑 収 入	44,854,849
次期繰越収支差額	710,990		
合 計	1,256,098,503	合 計	1,256,098,503

(注) 1 事業収入に県の公の施設の利用料金127,258,654円を含む。

2 補助金等収入は県補助金135,593,000円及び県の公の施設の指定管理料943,982,000円である。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫丹波の森協会

1 監査の対象

丹波地域のすべての人々の創意と行動力を結集し、地域のすぐれた自然環境を守り育てるとともに、緑を機軸とした地域づくり事業を行い、「人と自然と文化」の調和した、うるおいと、安らぎと、活力に満ちた丹波の森づくりを推進することを目的とするこの協会に対し、県が平成18年度において公の施設である丹波の森公苑の指定管理料として147,477,000円を支出しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成18年度公の施設の管理事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	158,407,430円	施設利用料金収入	10,930,430円
		指 定 管 理 料	147,477,000
合 計	158,407,430	合 計	158,407,430

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。